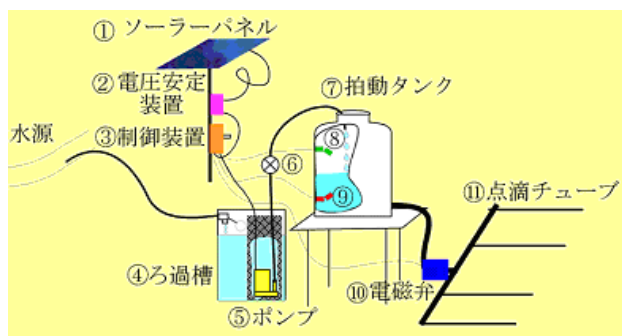


# 日射制御型拍動自動灌水装置を使って ヤマノイモの収益向上

## 【背景・目的・成果】

ヤマノイモの栽培には、7月下旬から9月下旬まで土壌が乾燥することなく、また加湿にならないように管理しなければ、収量、品質の増加が見込めません。そこで、日射制御型拍動自動灌水装置を使用して適正な水管理を行い、秀品率、収量増加と、それによる収益向上を目指しました。拍動灌水装置は、比較的 low コスト(15万円/10a)で導入でき、日射量に合わせた灌水が可能となり、収益が向上することが確認できました。



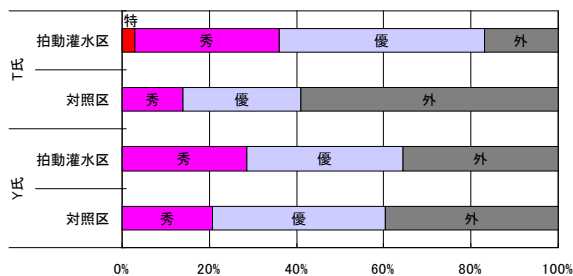
日射制御型拍動自動灌水装置\*の概略図

\* 特許第3787628

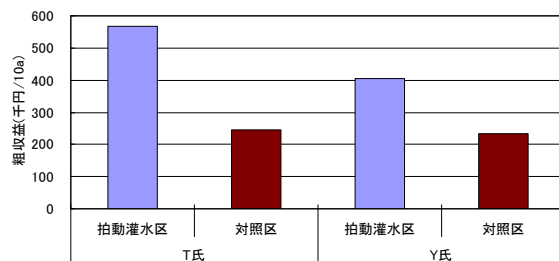
(独)近畿中国四国農業研究センター開発



灌水装置を設置したほ場の生育は順調で良品芋が生産できました



拍動灌水装置の設置による芋の等級への影響



拍動灌水装置の設置で粗収益が向上

## 【技術の活用】

日射制御型拍動自動灌水装置は、1分間あたり15リットル程度の比較的少量の用水からでも利用することができるため、うね間灌水が困難なほ場での利用が可能です。